



修徳橋

〈笑顔 元気 想像・創造〉

令和8年 2月 26日 No.21

市川三郷町立六郷小学校学校だより
市川三郷町岩間 2917
電話：0556-32-2004
<http://www.rokugo-sho.ed.jp/>
発行・文責 校長 望月 基希



HP アドレス

信頼される学校づくりを～学校評価の分析から～(児童アンケート)

毎年、教職員や保護者と同様に六郷小全児童に学校評価のためのアンケートを実施しています。今年度も1月下旬に実施をしました。その結果を分析し、これからも児童の思いを学校運営に活かしていきます。

令和7年度 学校評価(児童アンケート)集計結果

	評価項目	評価	今年度
			昨年度
1	学校が、楽しいですか。	A	3.4 3.3
2	クラス(学年)に、仲良く遊ぶ友達がいますか。	A	3.6 3.6
3	困ったときに、相談ができる友達がいますか。	A	3.3 3.2
4	クラスみんな、仲良しだと思えますか。	A	3.4 3.3
5	学校の授業が、楽しいですか。	A	3.3 3.3
6	学校の授業が、わかりますか。	A	3.5 3.4
7	先生は、わかりやすく勉強を教えてくださいますか。	A	3.7 3.8
8	困ったときに、相談ができる先生がいますか。	A	3.4 3.1
9	授業(勉強)でわからないことがある時は、先生や友だちに聞いていますか。	A	3.4 3.3
10	授業中に、意見を言ったり、質問をしたりしますか。	A	3.3 3.2
11	学習に、意欲的に取り組んでいますか。	A	3.4 3.2
12	宿題を忘れずにしていますか。	A	3.4 3.3
13	宿題の他にも、家庭で学習をしていますか。	B	2.3 2.3
14	家の人と、学校の様子を話していますか。	A	3.2 3.2
15	学校からの「たより」や通知(連絡など)を、家の人に渡していますか。	A	3.6 3.7
16	地域の人と出会ったら、あいさつをしていますか。	A	3.6 3.7
17	そうじや係など、当番の仕事がしっかりできていますか。	A	3.7 3.6
18	学校のきまりや約束ごとが、守れていますか。	A	3.5 3.3
19	もしあなたが悪いこと(まちがった行動)をしたら、先生から注意されると思いますか。	A	3.8 3.8
20	明日の学校での準備(持ち物・宿題など)を、前の日にしていますか。	A	3.3 3.4

各評価をポイント化して表示。Aが4.0 Bが3.0 Cが2.0 Dが1.0として平均点を算出。
総合評価についてはAは3.1以上 Bは2.6～3.0 Cは2.5以下とした。

学校評価（児童アンケート）の考察

①A 評価の項目

20項目中19項目がA評価となりました。子供たちが安心して学校生活を送れていることが分かりました。日頃から全教職員で指導・支援をすることを心がけてきた成果であると感じています。引き続き丁寧な指導・支援をしていきます。

②B 評価の項目

B評価は、昨年度に引き続き「13 宿題の他にも、家庭で学習をしていますか。」の一つだけでした。

③成果

- 1 「学校が、楽しいですか。」
- 3 「困ったときに、仲良く遊ぶ友だちがいますか。」
- 4 「クラスみんな、仲良しだと思いますか。」
- 6 「学校の授業が、わかりますか。」
- 8 「困ったときに、相談できる先生がいますか。」
- 9 「授業（勉強）でわからないことがある時は、先生や友だちに聞いていますか。」
- 10 「授業中に、意見を言ったり、質問をしたりしますか。」
- 11 「学習に、意欲的に取り組んでいますか。」
- 12 「宿題を忘れずにしていますか。」
- 17 「そうじや係など、当番の仕事がしっかりできていますか。」
- 18 「学校のきまりや約束ごとが、守れていますか。」

以上の11項目については、昨年度より評価が上がりました。学校生活や学習に対し、前向きな姿勢が表れていることが伺えます。授業において、自分の考えを述べたり、聞いたり、話したりすることに加え、ICT機器を活用して表現したりすることにも慣れてきています。友だちや先生との関係もよい傾向があり、学校生活において、教室が心理的に安心できる場所となっていることがうかがえます。引き続き指導・支援をしていきます。

④課題と改善策

昨年度と同様、「13 宿題の他にも、家庭で学習をしていますか。」がB評価となりました。ポイントも昨年度と同じ2.3ポイントでした。宿題については、8割以上の児童が毎日忘れずにやってきていますが、宿題として自主学習が出ているため、それ以上のことは自主学習としてやってこない現状がまだあるようです。家庭での自主学習を定着させるためには、興味付けや学習方法を変える必要があると考え、今年度は、ノートだけでなく、ICT機器を使用して学習する形態を取り入れ、3学年以上で試みました。ICT機器による学習では、自分以外の人ができるような自主学習をしているか、その場で見られるようにし、相互評価ができるようにしました。それぞれの児童が学習する内容を考えて取り組んでいることが分かりました。それぞれが課題を選択し、決定して取り組むようになったという点では、一歩前進したと言えるのではないかと感じています。引き続き取組を進め、宿題以外の自主的な学習に取り組んでいけるように指導を続けていきます。

**家庭での学習については、保護者の皆様のご協力が必要です。
ぜひ、これからもご支援をよろしくお願いします。**